



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 太平製作所  
コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

(氏名) 齊藤 武  
(氏名) 尾関 修康  
TEL 0568-73-6411  
配当支払開始予定日 2023年12月1日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,270	52.1	665	189.8	674	170.8	452	188.6
2023年3月期第2四半期	2,808	35.9	229		249		156	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 459百万円 (194.1%) 2023年3月期第2四半期 156百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	325.21	
2023年3月期第2四半期	112.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	11,159	6,257	56.1	4,462.06
2023年3月期	9,926	5,844	58.9	4,217.31

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,257百万円 2023年3月期 5,844百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		60.00	80.00
2024年3月期		50.00			
2024年3月期(予想)				80.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,980	39.5	1,648	121.9	1,667	116.8	1,148	68.0	818.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	1,500,000 株	2023年3月期	1,500,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	97,515 株	2023年3月期	114,077 株
------------	----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	1,391,806 株	2023年3月期2Q	1,397,075 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が緩和され、社会・経済活動が持ち直しつつあるものの、長期化するウクライナ情勢、原材料やエネルギー価格の高騰等による物価の上昇、世界的な金融引き締め等による景気不振リスクは継続しており、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループを取り巻く経営環境は、事業への影響が大きい住宅業界において住宅着工戸数の減少が続いており、合板を始めとした木質建築資材の消費が落ち込むなど、業界全体の景況感に陰りが見えるものの、木材資源の有効活用や省エネ・省人化に向けた設備投資が進められております。

このような環境の中、合板機械事業および木工機械事業においては、受注した案件の製作および据付・納品を着実に進めてまいりました。また、海外の展示会に積極的に出展するなど営業活動を強化したことにより、合板機械事業の主力機械であるドライヤーやアコーディオンプレスの認知が広がり、米国で新たな大型案件の受注を獲得しました。木工機械事業においてコスト上昇が想定を若干上回ったことや、住宅建材事業の業績悪化があるものの、合板機械事業の受注増加などの影響から、グループ全体としてはほぼ予想通りの業績となりました。

これらの結果、売上高は4,270百万円（前年同四半期比52.1%増）となりました。利益につきましては、営業利益は665百万円（前年同四半期比189.8%増）、経常利益は674百万円（前年同四半期比170.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は452百万円（前年同四半期比188.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①合板機械事業

合板機械事業は、国内においては新たな木質建材への取組みに向けた設備投資が増加したこと、海外においても営業活動を強化した結果、受注が増加しました。

受注増加に伴う売上増加に加え、一定期間にわたり収益を認識する案件の進捗が進んだことにより売上、利益ともに増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,156百万円（前年同四半期比97.6%増）、営業利益は694百万円（前年同四半期比374.0%増）となりました。

## ②木工機械事業

木工機械事業は、生産性向上・省人化機械への入れ替えや、国産材の国内消費率を高めるため新たな工場を建設するなど、設備投資意欲が高まっております。このような環境の中、顧客ニーズに合わせた機械の開発および営業活動に注力したことで、主力機械である国産材向けフィンガージョイントラインやスカナー関連などの受注が増加しました。

一方、利益につきましては、人件費の上昇などコストが増加したことにより減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は691百万円（前年同四半期比13.4%増）、営業利益は67百万円（前年同四半期比36.0%減）となりました。

## ③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅需要の低下が続いており厳しい市場環境にあります。営業体制を強化し受注確保に努めてまいりましたが、市場の冷え込みは予想以上に厳しく売上が減少しました。

また、物価上昇等によるコスト上昇により収益性が低下したことに加え、新型コロナウイルス対策で行われたゼロゼロ融資の返済が始まったことにより、資金繰り難から倒産する取引先が発生し貸倒損失が発生しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は423百万円（前年同四半期比29.6%減）、営業損失につきましては、44百万円（前年同四半期は27百万円の営業利益）となりました。

## セグメントの受注実績

セグメントの名称	前第2四半期累計期間 (千円)	当第2四半期累計期間 (千円)	前年同期比 (%)
合板機械事業	2,985,634	3,884,773	30.1
木工機械事業	354,590	1,310,311	269.5
住宅建材事業	573,390	442,466	△22.8
合計	3,913,616	5,637,552	44.0

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.7%増加し、8,878百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が726百万円増加、有価証券が500百万円増加、流動資産のその他が108百万円増加、仕掛品が202百万円減少、現金及び預金が128百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11.4%増加し、2,280百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他が209百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて12.4%増加し、11,159百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて21.9%増加し、4,462百万円となりました。これは主に前受金が955百万円増加、完成工事補償引当金が90百万円増加、未払法人税等が79百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が212百万円減少、短期借入金が100百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、438百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が23百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて20.1%増加し、4,901百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.1%増加し、6,257百万円となりました。これは主に、利益剰余金が369百万円増加したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末残高と比べて446百万円減少し、3,926百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1,023百万円（前年同四半期は521百万円の獲得）となりました。これは主に、前受金の増加による資金の増加および税金等調整前四半期純利益の増加が、売上債権及び契約資産の増加による資金の減少を上回ったためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,067百万円（前年同四半期は456百万円の使用）となりました。これは主に、有価証券の取得による資金の減少および定期預金の預入による資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は402百万円（前年同四半期は95百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増減額の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月6日の業績予想の修正に関するお知らせで公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,805,686	3,677,040
受取手形、売掛金及び契約資産	1,850,350	2,576,576
有価証券	1,300,000	1,800,000
仕掛品	439,136	236,430
原材料及び貯蔵品	417,077	424,088
その他	69,057	177,968
貸倒引当金	△1,441	△13,782
流動資産合計	7,879,866	8,878,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	478,032	472,831
土地	689,746	689,746
その他（純額）	88,308	120,794
有形固定資産合計	1,256,087	1,283,372
無形固定資産		
その他	20,370	17,246
無形固定資産合計	20,370	17,246
投資その他の資産		
その他	770,398	980,122
投資その他の資産合計	770,398	980,122
固定資産合計	2,046,857	2,280,741
資産合計	9,926,723	11,159,061
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,532,996	1,489,696
短期借入金	800,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	212,000	—
未払法人税等	164,416	243,892
賞与引当金	102,121	142,635
受注損失引当金	4,583	2,798
完成工事補償引当金	96,350	186,650
前受金	531,488	1,486,817
その他	215,540	210,077
流動負債合計	3,659,496	4,462,567
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付に係る負債	298,500	321,791
役員退職慰労引当金	2,445	2,445
その他	21,417	14,291
固定負債合計	422,363	438,528
負債合計	4,081,859	4,901,095

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	114,957	128,753
利益剰余金	5,118,777	5,488,253
自己株式	△159,594	△136,424
株主資本合計	5,824,140	6,230,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,723	27,383
その他の包括利益累計額合計	20,723	27,383
純資産合計	5,844,863	6,257,965
負債純資産合計	9,926,723	11,159,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,808,300	4,270,844
売上原価	2,137,119	3,099,709
売上総利益	671,180	1,171,134
販売費及び一般管理費	441,495	505,507
営業利益	229,684	665,627
営業外収益		
受取利息	22	231
受取配当金	1,729	2,130
鉄屑売却収入	1,402	3,512
保険解約返戻金	—	1,753
助成金収入	15,085	18
その他	2,606	2,589
営業外収益合計	20,846	10,235
営業外費用		
支払利息	1,519	1,546
その他	10	9
営業外費用合計	1,529	1,555
経常利益	249,001	674,307
特別利益		
固定資産売却益	163	343
特別利益合計	163	343
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	249,164	674,651
法人税、住民税及び事業税	111,638	223,123
法人税等調整額	△19,319	△1,103
法人税等合計	92,318	222,020
四半期純利益	156,846	452,630
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,846	452,630

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	156,846	452,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△659	6,659
その他の包括利益合計	△659	6,659
四半期包括利益	156,186	459,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,186	459,290

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	249,164	674,651
減価償却費	46,801	47,286
株式報酬費用	12,627	14,850
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△151	12,341
賞与引当金の増減額 (△は減少)	56,577	40,514
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14,284	23,291
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	861	—
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	77	△1,785
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	39,500	90,300
受取利息及び受取配当金	△1,752	△2,361
支払利息	1,519	1,546
助成金収入	△15,085	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△163	△343
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	241,468	△726,226
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△44,355	195,695
仕入債務の増減額 (△は減少)	△123,195	△43,300
前受金の増減額 (△は減少)	△104,706	955,329
その他	158,706	△111,463
小計	532,178	1,170,325
利息及び配当金の受取額	1,752	2,361
利息の支払額	△1,516	△1,475
助成金の受取額	28,801	—
法人税等の支払額	△39,359	△147,821
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>521,856</b>	<b>1,023,390</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△388,003	△568,001
定期預金の払戻による収入	242,004	250,000
有価証券の取得による支出	△300,000	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△10,709	△44,053
有形固定資産の売却による収入	163	343
無形固定資産の取得による支出	—	△6,000
投資有価証券の取得による支出	△241	△200,243
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△456,786</b>	<b>△1,067,954</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入金の返済による支出	△32,000	△212,000
配当金の支払額	△55,093	△82,016
リース債務の返済による支出	△8,734	△8,077
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△95,827</b>	<b>△402,093</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△30,743	△446,647
現金及び現金同等物の期首残高	3,885,695	4,372,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,854,952	3,926,038

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（税金費用の計算方法の変更）

税金費用については、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算の対応を迅速かつ効率的に行うため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,596,809	609,542	601,948	2,808,300
セグメント間の内部売上高又は振替高	718	—	—	718
計	1,597,527	609,542	601,948	2,809,018
セグメント利益	146,409	104,775	27,428	278,613

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	278,613
未実現利益の消去	153
全社費用（注）	△49,082
四半期連結損益計算書の営業利益	229,684

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	3,156,009	691,169	423,665	4,270,844
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,156,009	691,169	423,665	4,270,844
セグメント利益又は損失（△）	694,050	67,044	△44,546	716,548

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	716,548
未実現利益の消去	5
全社費用（注）	△50,926
四半期連結損益計算書の営業利益	665,627

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。